

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共用施設(交通施設:中山1号線舗装事業)整備事業						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	岩国市周東町中山地内						
補助事業の成果の目標	本路線は、舗装の老朽化により、ひび割れや轍掘れが生じていることから、車両等の快適な通行に支障をきたしているところである。 このため、本路線の舗装工事を行い、車両等が快適に通行できる環境を整えることで、地域住民の生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	舗装工事 延長L=800m 幅員W=6.6m~7.85m						
補助事業の始期及び終期	平成28年度~令和元年度						
事業費及び交付金額		28年度	29年度	30年度	元年度		計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	4,640,000	4,380,000		4,136,000		13,156,000
	交付金額	4,600,000	4,200,000		4,136,000		12,936,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業を実施したことにより、車両の走行性が向上し、地域住民の生活環境の改善を図ることができた。 また、沿線住民へのアンケート調査を実施したところ、回答者11人中11人から「改善した」、または「おおむね改善した」との回答を得ることができた。 本事業が、防衛省の交付金事業である旨を工事看板に記載するとともに市ホームページへ本事業評価書を掲載することにより、地域住民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	地域住民の理解を得ながら事業を実施						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共用施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：御庄第四街区公園施設改修）整備事業						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	岩国市御庄三丁目地内						
補助事業の成果の目標	御庄第四街区公園は多くの地区住民が利用する公園であるが、トイレが仮設タイプの汲み取り式となっているため、ユニバーサルデザインのトイレに改修し、水洗化も行う。 また、併せて公園の出入口のバリアフリー化等も図り、子どもから高齢者まで広く利用できる公園とし、安全かつ快適な利用環境を整備する。						
補助事業の内容	トイレ改築工事 一式、公園施設改修 一式						
補助事業の始期及び終期	平成30年度～令和元年度						
事業費及び交付金額		平成30年度	令和元年度				計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	2,412,357	18,438,197				20,850,554
	交付金額	2,305,000	17,512,000				19,817,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	公園利用者にトイレや公園出入口の改築後の利便性についてのアンケート調査を行い、トイレ改築後の満足度が「利便性について」100%、「設備について」100%、「安全性について」100%となり、出入口の段差改修等による満足度が「環境整備について」95%、「安全性について」95%となったことから、安全かつ快適な利用環境を整備する事ができたことを確認した。 また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業であることを、工事看板、工事お知らせ、トイレ本体にプレート看板を設置し地域住民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も地域住民が利用しやすいよう自治会等と連携を密にし事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業(環境衛生に関する事業:南岩国町三丁目地区環境対策)						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	岩国市南岩国町三丁目地内						
補助事業の成果の目標	当該遊水池については、恵比須ポンプ場に隣接する遊水池であるが、土砂が堆積し生活雑排水が流入することで、悪臭が発生している。 このため、遊水池の浚渫を実施することで、悪臭を軽減し、地域の生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	浚渫一式						
補助事業の始期及び終期	平成28年度～令和元年度						
事業費及び交付金額		平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	元年度 予定	計
	事業費	円 669,600	円 8,309,520	円	円 8,391,600	円 5,975,200	円 23,345,920
	交付金額	669,000	7,200,000		7,000,000	5,377,000	20,246,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>恵美須自治会へのアンケート調査では、害虫(蚊)等の発生が少なくなり、悪臭も改善したとの回答を得られ、地域の生活環境の改善を図ることができた。</p> <p>特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の箇所に記載し、本事業に係る地域住民への周知を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 工事看板 2) 周知用リーフレット 3) 市ホームページ(事業評価書の掲載) 						
事業の改善措置及び今後の対応	地域住民の理解を得ながら事業を実施						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業(環境衛生に関する事業:南岩国町三丁目地区環境対策)					
補助事業者名	岩国市					
実施場所	岩国市南岩国町三丁目地内					
補助事業の成果の目標	当該遊水池については、小柵ポンプ場に隣接する遊水池であるが、土砂が堆積し生活雑排水が流入することで、悪臭が発生している。 このため、遊水池の浚渫を実施することで、悪臭を軽減し、地域の生活環境の改善を図る。					
補助事業の内容	浚渫一式					
補助事業の始期及び終期	平成28年度～令和元年度					
事業費及び交付金額		平成 28年度	29年度	30年度	令和 元年度	計
	事業費	円 669,600	円 8,309,520	円	円 14,354,700	円 23,333,820
	交付金額	669,000	7,200,000		12,377,000	20,246,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	地域住民へのアンケート調査では、害虫(蚊)等の発生が少なくなり、悪臭も改善したとの回答を得られ、地域の生活環境の改善を図ることができた。 特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の箇所に記載し、本事業に係る地域住民への周知を図った。 1) 工事看板 2) 周知用リーフレット 3) 市ホームページ(事業評価書の掲載)					
事業の改善措置及び今後の対応	地域住民の理解を得ながら事業を実施					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分別及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業(住民の生活の安全に関する事業: 岩国市防犯設備基金事業)						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	市内全域						
補助事業の成果の目標	市民生活に悪影響を及ぼす犯罪、事故等を未然に防止する環境を醸成し、市民が安心・安全に暮らすことができるまちづくりを推進する。						
補助事業の内容	防犯灯電気料金の助成						
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和6年度						
事業費及び交付金額		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度 予定	計	
	事業費	円 3,392,920	円 31,706,671	円 24,794,294	円 25,803,000	円 85,696,885	
	基金 造成 額	交付金額	73,000,000	17,210,000	26,364,000	35,543,000	152,117,000
		市町村費					0
		その他					0
		運用益	1,018	34,726	31,902	59,676	127,322
		計	73,001,018	17,244,726	26,395,902	35,602,676	152,244,322
	基金処分額	0	3,392,920	31,706,671	24,794,294	59,893,885	
基金残額	73,001,018	86,852,824	81,542,055	92,350,437			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業について、自治会へのアンケート調査を行い、「防犯灯により安心感が出る」「家と家の間隔が離れており防犯灯があり大変助かる」「道幅が狭く坂も多いため助かっている」等の回答を得ているところであり、犯罪、事故等を未然に防止する環境が醸成され、市民が安心・安全に暮らすことができるまちづくりの推進に貢献していることを確認した。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用していることをホームページ及び自治会ハンドブック等に掲載することで、市民全体に周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	アンケート結果を参考にして、事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業(教育、スポーツ及び文化に関する事業:岩国市学校給食運営基金事業)						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	市内全域						
補助事業の成果の目標	学校給食において、児童及び生徒の食に関する正しい理解と望ましい食習慣を養うとともに、保護者の経済的負担の軽減を図るため、教育活動の一環である学校給食の無償化を実施し、安心して子育てができるまちづくりを推進する。						
補助事業の内容	学校給食の無償化						
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和6年度						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 予定	計	
	事業費	円 18,997,200	円 402,790,812	367,968,125	円 401,592,528	円 1,191,348,665	
	基金 造成 額	交付金額	190,000,000	559,595,000	544,067,000	405,640,000	1,699,302,000
		市町村費					0
		その他					0
		運用益	2,054	114,797	218,339	517,032	852,222
		計	190,002,054	559,709,797	544,285,339	406,157,032	1,700,154,222
	基金処分額	0	18,997,200	402,790,812	367,968,125	789,756,137	
基金残額	190,002,054	730,714,651	872,209,178	910,398,085			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことで、保護者の経済的負担の軽減を図るため、教育活動の一環である学校給食の無償化を実施し、安心して子育てができるまちづくりが推進された。</p> <p>なお、小中学校長等へのアンケート調査を行い、「家庭の経済面の負担軽減につながっており、成長期の子どもの健康面を支えることができていると思う。」や「給食の無償化は家庭だけでなく児童の安心感を高め、学校教育の目標の達成を側面から支援している事業である。」等の回答を得ている。</p> <p>本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用していることを以下の箇所に記載し、本事業に係る地域住民への周知を図った。</p> <p>(1)市広報紙へ記載 (2)新入学児童生徒に対し周知文書の配布 (3)アンケート用紙に記載 (4)ホームページへ掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	アンケート結果を参考にして、事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業(教育、スポーツ及び文化に関する事業:岩国市日米交流基金事業)						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	市内全域						
補助事業の成果の目標	教育、スポーツ、文化活動等の日米交流事業を通じて、日米の相互理解及び友好の絆を深めることにより、国際感覚の豊かな人材育成ができるまちづくりを推進する。						
補助事業の内容	日米交流事業及び愛宕山運動施設の管理運営						
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和5年度						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (予定)	令和3年度 以降(予定)	計
	事業費	12,038,266	69,926,415	66,061,387	90,180,000	208,195,544	446,401,612
	基金 造成 額	90,000,000	136,834,000	93,946,000	100,000,000	25,220,000	446,000,000
	交付金額						
	市町村費						0
	その他						0
	運用益	6,805	54,863	108,857	63,479	167,608	401,612
	計	90,006,805	136,888,863	94,054,857	100,063,479	25,387,608	446,401,612
基金処分額	0	12,038,266	69,926,415	66,061,387	298,375,544	446,401,612	
基金残額	90,006,805	214,857,402	238,985,844	272,987,936	0		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>教育・スポーツ・文化等に関する日米交流事業として下記2事業を実施したほか、愛宕スポーツコンプレックスの運営・管理に関する事業において、日米交流を通じての相互理解や、日米の親善を深める取り組みを展開した。</p> <p>令和元年11月30日には、文化交流事業として「クリスマスツリーを飾ろう」を開催し、日米103人(市民:51人、米国人52人)の親子等が折り紙やクラフトを製作し飾り付けを行った。サンタクロースの登場により会場を盛り上げたほか、日米合同でクリスマスソングを合唱し、日米交流の場を創出した。アンケート調査では、「日頃は米軍基地の方と交流する機会が少ないが、レクレーションを通じて触れ合えたことがよかった」などの市民からの意見や、米国人からは、「米国人のためのイベントに感謝しており、家族にとって忘れられない思い出となった。」などの肯定的な意見が多く、クリスマスイベントを通じた交流により親善を深め、日米の相互理解につながったことが確認できた。</p> <p>令和元年12月1日に開催した「第3回日米親善リレーマラソン」ではエントリー数199チーム、2,069人(内、米軍関係者:18チーム、201人)の参加があり、日米混成チームで参加されるチームも見受けられ、日米交流の場を創出した。チーム代表者を対象としたアンケート調査では、「会話ができなくてもスポーツ・目的を通じてコミュニケーションが図れる」や「年齢・国籍関係なく皆が笑顔で楽しかった」などの肯定的な意見が多く、1本の襷をつなぐことにより、日米の友好と絆を深めることにつながったことが確認できた。</p> <p>なお、本事業が、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を市ホームページ、施設掲示板、市報、イベントポスター・チラシ及びアンケート用紙に掲載し、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	アンケート結果を参考にして、事業を実施していく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：岩国市学校空調設備維持管理事業）							
補助事業者名	岩国市							
実施場所	岩国市市内各地							
補助事業の成果の目標	本市の市立小学校及び中学校は、空調設備が未整備の施設が多いことから、夏季に教室等の温度が上昇し、児童生徒に集中力の低下や体調不良が見られるなど、学校環境が悪化しているところである。 学校環境の改善を図るために整備した空調設備の維持管理を適切に行い、安定的な運用を行うことで、児童生徒が快適に学習できる環境を整える。							
補助事業の内容	空調設備の維持管理							
補助事業の始期及び終期	平成23年度から令和8年度							
事業費及び交付金額		28年度 まで	29年度	30年度	令和元年度	2年度予定	計	
	事業費	円 16,132,354	円 12,835,948	円 14,930,979	円 15,290,506	円 20,388,000	円 79,577,787	
	基金 造成 成額	交付金額	156,121,000	0	0	0	0	156,121,000
		市町村費						
		その他						
		運用益	297,509	139,166	94,665	62,281	96,531	690,152
		計	156,418,509	139,166	94,665	62,281	96,531	156,811,152
	基金処分類	8,231,974	7,900,380	12,835,948	14,930,979	15,290,506	59,189,787	
	基金残額	148,186,535	140,425,321	127,684,038	112,815,340	97,621,365		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業を実施したことにより、空調設備の維持管理を適切に行うことができ、安定的な運用が可能となった。 また、各学校へのアンケート調査を実施した結果、本事業が児童生徒に対して快適な学習環境を提供することができている旨の回答を得た。 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業であることについては、空調機器に記載及びホームページへの掲載を行い、地域住民へ周知を行っている。							
事業の改善措置及び今後の対応	現場の使用状況や、アンケート結果を参考にして事業を実施							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

- 注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分類及び基金残額についても記載すること。
- 2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業（医療に関する事業：こどもインフルエンザ予防接種助成事業）									
補助事業者名	岩国市									
実施場所	岩国市									
補助事業の成果の目標	本市では、インフルエンザ予防接種助成制度は、65歳以上の高齢者にしかなく、こどものいる家庭においてインフルエンザ予防接種は経済的に大きな負担となっている。 このため、乳幼児、小・中学校において、インフルエンザ予防接種の助成を実施し、保護者の経済的な負担を軽減することで、インフルエンザの蔓延を防止し、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を図る。									
補助事業の内容	こどものインフルエンザ予防接種に係る費用の一部を補助する。									
補助事業の始期及び終期	平成28年10月から令和5年3月まで									
事業費及び交付金額		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計	
	事業費	円	円	円	円	円	円	円	円	
	交付金額	204,000,000	51,000,000						255,000,000	
	基金造成額	市町村費	0	0						0
		その他	0	0						0
		運用益	19,014	168,553	91,608	81,267	106,647	61,496	8,036	536,621
		計	204,019,014	51,168,553	91,608	81,267	106,647	61,496	8,036	255,536,621
	基金処分額	0	38,533,979	34,773,800	38,496,385	42,000,000	45,170,360	56,562,097	255,536,621	
基金残額	204,019,014	216,653,588	181,971,396	143,556,278	101,662,925	56,554,061	0	0		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	保護者を対象にアンケート調査を行ったところ、「この助成制度は子育て支援の一環になっている」という回答が99%得られ、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備に貢献できていることを確認した。 また、当該事業が交付金事業である旨を市広報誌及び市HPへの掲載、乳幼児健診時のチラシ及びアンケート用紙への記載により、地域住民への周知を図った。									
事業の改善措置及び今後の対応	引き続き、助成事業を継続することにより、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を図りたい。									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。